

# 監査方針

内山 勇人

中川雄一郎

## 【基本方針】

J C Iは昨年、国連におけるNGOの最高基準資格である総合協議資格Generalを取得しユネスコやユニセフと並び世界を代表するNGO団体として改めて国際社会から認められた。更にアジアの仲間と相互発展を遂げてきた日本青年会議所も公益社団法人格を取得して以降、若き能動的市民のトップグローバルネットワークとして透明性を高め組織力の向上に努めている。そして我々上越青年会議所では、社会の変遷と共に事業スキームの見直しや実践的先駆者としての広域なセンスと公益なバランスが課題となっています。

これらの課題に対して、創立45周年にて策定したグランドデザイン・アクションプランを機軸に過去の事業や運動の検証を促す事で単年度制の弊害とも言える不連続の連続という価値観を見直し、新たな価値として地域のニーズとJ Cのシーズとのバランスを考えながら、未来を見据えた運動の推進・新たな事業スキームの構築に繋がる助言をする事を第一義と致します。そして結果の平等ではなく、機会の平等に重視しながら公平性と透明性を保ち例会並びに理事会での講評に努める事で、大局観を持って物事を考える事の重要性や局所の課題に積極果敢に挑む意志の醸成を図ります。また、グローバル化の時代を生き抜くJAYCEEとしてITコミュニケーション技術などの有機的なネットワークを戦略的に活用する上で、公益な観点に立ち地球規模で考えながら自らの地域で運動や情報を受発信するグローバリゼーションとローカリゼーションを混成させた、レジームチェンジ・公益法人としての体制転換を推進し確立出来るよう職務に努めます。更には、持続可能な組織力の向上へと繋げるべく定款及び諸規定の厳守・徹底を図ると共に、J Cのネットワークを活かしながら今後の組織の在り方を視野に業務及び財産状況等を監査致します。

確固たる意志力により裏付けられたJ C運動への真摯な情熱という価値観を共有し伝播する事でJAYCEEの存在価値を地域が改めて必要とする時代。約半世紀にも及ぶ地域からの負託と信頼に応えたJ C運動が選ばれる時代を迎えた今だからこそ公の一步を踏み出す時。J Cしかない時代からJ Cもある時代、そして今は地域にJ Cがある時代である。

文責 中川雄一郎